

たしかめ

20

名 前

96

9 6

どうろのりよう側がわにほどうがある。

97

9 7

きようの勝しょうぶはまけた。

98

9 8

そのしごと、ぼくらのかかりも関かんけいするね。

99

9 9

「ぜんいんしゅうごう」のあいずの笛ふえがなる。

100

100

おまつりのよる、はなびがあがる。

100	99	98	97	96
祭	員	係	負	両
お祭りの夜、花火が上がる。	「全員集合」の合図の笛が鳴る。	その仕事、ぼくらの係も関係するね。	今日の勝負は負けた。	道路の両側に歩道がある。

101	

授^{じゅ}ぎようで かんじの いみを ならう。

102	

こくばんは、むかしは くらい いた だった。

103	

えんちゅうの かたちを している でん信^{しん}はしら。

104	

ガソリンは せきゆから つくった あぶらです。

105	

105 神^{こう}べこうは、がいこくせんが つく みなどだ。

105	104	103	102	101
港	油	柱	板	業
神戸港は、外国船が着く港だ。	ガソリンは石油から作った油です。	円柱の形をしている電信柱。	黒板は、昔は黒い板だった。	授業で漢字の意味を習う。

106	

やつきよくで風邪かぜのくすりをかった。

107	

ふえがなったらあつまりましょう。

108	

まけたものは敗はしや。

109	

熱湯ねっとうをそそぐときには、やけどにちゅうい。

110	

わるくちをいわれてきぶんは最さいあくだ。

110	109	108	107	106
悪	注	者	笛	薬
悪口を言われて気分は最悪だ。	熱湯 <small>ねっ</small> を注ぐ時には、やけどに注意。	負けた者は敗者 <small>はい</small> 。	笛が鳴ったら集まりましょう。	薬局で風邪 <small>かぜ</small> の薬を買った。

たしかめ

23

名前

[illegible]

このしゅうぶ、どっちがかつのか
まけるのか。

[illegible]

112
がっ級ぶんこの
ほんを
よむ。

[illegible]

すいめん　に　さざなみが　たつ。

[illegible]

おひるの
ほうそを
きく。

[illegible]

あたらしい
べんきよう
机つくえを
かっ
てもら
った。

1 1 5	1 1 4	1 1 3	1 1 2	1 1 1
勉	放	波	庫	勝
新 しい 勉 強 机 ^{づくえ} を 買 っ て も ら っ た。	お 昼 の 放 送 を 聞 く。	水 面 に さ ざ 波 が 立 つ。	学 級 文 庫 の 本 を 読 む。	こ の 勝 負 、ど っ ち が 勝 つ の か 負 け る の か。

120

1 2 0

こ
ろ
転んでけっ管がきれ、あしからちがでた。

119

1 1 9

ぎょうれつが
できる、にんきの
ラーメンてん。

118

118

しん実とおもっていたら まっかな嘘。

117

117

スマホでうつした
はなのしやしん。

116

116

どくしよかんそうぶんをかく。

たしかめ

24

名前

120	119	118	117	116
血	列	真	写	想
転んで血管が切れ、足から血が出た。	行列ができる、人気のラーメン店。	真実と思っていたら真つ赤な嘘。	スマホで写した花の写真。	読書感想文を書く。

125

1 2 5

ははは けいじどうしやに 乗^のっている。

124

1 2 4

ああ
さむい。つよい
かんぱが
やってきた。

123

1	2	3
---	---	---

あついなつ、しよちゅう
おみ舞いまもうしあげます。

122

1 2 2

どうろにかかるおう断たんようのはしがほどうきよう。

121

1 2 1

まっくら闇のあんやです。

たしかめ

25

名前

1 2 5	1 2 4	1 2 3	1 2 2	1 2 1
軽	寒	暑	橋	暗
母は軽自動車に乗っている。	ああ寒い。強い寒波がやってきた。	暑い夏、暑中お見舞い申し上げます。	道路にかかる横断用の橋が歩道橋。	真つ暗闇の暗夜です。

1 2 6	

126

いのちがけで しめいを 果たす。

1 2 7	

127

なにを するにも あんぜんだいいちだ。

1 2 8	

128

へんきんは、借りた おかねを かえすこと。

1 2 9	

129

しょくじのとき、おもに たべる ものが しゅしよくだ。

1 3 0	

130

ほんしゅうと きゅうしゅうをつなぐ 関もんトンネル。

130	129	128	127	126
州	主	返	第	命
本州と九州をつなぐ関門トンネル。	食事の時、主に食べるものが主食だ。	返金は、借りたお金を返すこと。	何をするにも安全第一だ。	命がけて使命を果たす。

たしかめ

27

名前

[illegible]

おくじょうから
むこうの
いえの
やねが
みえる。

[illegible]

132
お
お
き
く
て
ふ
と
い
ね
だ
か
ら
だ
い
こ
ん
だ。

[illegible]

にゅうかしたにもつを 倉こにはこび込む。

[illegible]

134

きまりは必ずまもること。

かならず

[illegible]

このほんは
べんきようの
やくに
たつ。

1 3 5	1 3 4	1 3 3	1 3 2	1 3 1
役	守	荷	根	屋
この本は勉強の役に立つ。	決まりは必ず守ること。 <small>かなら</small>	入荷した荷物を倉庫 <small>そう</small> に運び込 <small>こ</small> む。	大きくて太い根だから大根だ。	屋上から向こうの家の屋根が見える。

140

1 4 0

にがっきはいちばんながいがっきです。

139

1 3 9

メモをとりながらしゅ材する。

138

1 3 8

ひをけすくるまがしょう防しや。

137

1 3 7

たいいくは、からだを
そだてる
じかんだ。

136

1 3 6

おとう腐ふは、まめからできている。

たしかめ

28

名前

140	139	138	137	136
期	取	消	育	豆
二学期は一番長い学期です。	メモを取りながら取材する。	火を消す車が消防車。	体育は、体を育てる時間だ。	お豆腐は、豆からできている。

1 4 1	

だいずははたけのくともいわれる。

1 4 2	

しゅう了^{りよう}のふえがなつたよ、もうおわり。

1 4 3	

ふくはうち鬼^{おに}はそと。

1 4 4	

そらがくらくなり、きゆうにかぜがつよくなった。

1 4 5	

さあおきろ。き床^{しやう}のじかんだ。

1 4 5	1 4 4	1 4 3	1 4 2	1 4 1
起	急	福	終	畑
さあ起 <small>き</small> きろ。起 <small>し</small> 床 <small>こ</small> の時間だ。	空が暗くなり、急 <small>い</small> に風が強 <small>つ</small> くなった。	福は内鬼 <small>おに</small> は外。	終 <small>り</small> 了の笛が鳴 <small>な</small> ったよ、もう終 <small>わ</small> わり。	大豆は畑の肉ともいわれる。

たしかめ

30

名前

	1	4	6
に が い			
く す り を			
く 労 ^{ろう} し て			
飲 ^の む 。			
あ あ			
く る し い 。			

に|が|い|く|す|りを|く|ろう勞|して|飲のむ。あ|あ|く|る|しい。

[illegible]

147
駅えきで
とも達たちと
まちあわせる
はは。

[illegible]

148
 そうだんしつで
 せんせいと
 めんだんする。

[illegible]

はなみずが
とまらず、
じびかへ
いった。

[illegible]

150 永^{えい}久^{きゅう}し^しが^が お^おし^しば^ばに^に なる。

150	149	148	147	146
歯	鼻	談	待	苦
永久 ^{えいきゅう} 歯が虫歯になる。	鼻水が止まらず、耳鼻科へ行った。	相談室で先生と面談する母。	駅で友達 ^{だち} と待ち合わせる。	苦い薬を苦 ^{ろう} 勞して飲む。ああ苦しい。

151	

うんどうじょうのちゅうおうにあつまる。

152	

かい段^{だん}をのぼってにかいのきょうしつへいく。

153	

としよいいのしごとはほんのせいりだ。

154	

よねんせいにしんきゆうする。

155	

おじいさんはしょう^わうまれだ。

1 5 5	1 5 4	1 5 3	1 5 2	1 5 1
昭	級	委	階	央
おじいさんは昭和生まれだ。	四年生に進級する。	図書委員の仕事は本の整理だ。	階段 ^{だん} を上って二階の教室へ行く。	運動場の中央に集まる。

たしかめ

32

名前

[illegible]

美しくへいわなにほん。こころもなごむ。

[illegible]

えきまへの
ひろばで
まちあわせる。

[illegible]

158
けがわの コートを きた おんなの ひと。

[illegible]

159 ゆうしよくの よういだ。おさらを 並ならべてね。

[illegible]

160
きが
みじかく
すぐ
怒りだす
たんきな
ひと。

160	159	158	157	156
短	皿	皮	駅	和
気が短くすぐ怒り出す短気な人。	夕食の用意だ。お皿を並べてね。	毛皮のコートを着た女の人。	駅前の広場で待ち合わせる。	美しく平和な日本。心も和む。

165

1 6 4

い | が | く | の | し | ん | ぽ | で | 良 | い | く | す | り | が | で | き | た | 。

164

1 6 3

やまいはきから。げんきでびようきしらずだ。

163

1 6 2

さんかいてんジャンプのあと、みごとにちやくち。

162

1 6 2

うつくしいこえを
びせいという。

161

1 6 1

いきぐるしくて 窒ちつそくしそうな 満まんいんでんしゃ。

たしかめ

33

名前

1 6 5	1 6 4	1 6 3	1 6 2	1 6 1
医	病	転	美	息
医学の進歩で良い薬 <small>よ</small> ができた。	病は気から。元気で病気知らずだ。	三回転ジャンプの後、見事に着地。	美しい声を美声という。	息苦しくて窒息 <small>ちっ</small> しそうな満員電車 <small>まん</small> 。

166

あついとときには
むぎちやをのもう。

167

おもいいわ、みつつ
かさねて じゅう量^{りょう}いっトン。

167

おもいいわ、みつつ
かさねて じゅう量^{りょう}いっトン。

168

しんぶんをくばって
まわる しんぶんはい達^{たち}。

168

しんぶんをくばって
まわる しんぶんはい達^{たち}。

169

おんどけいは、おん
どをしらべる どうぐ
です。

169

おんどけいは、おん
どをしらべる どうぐ
です。

170

こううんが 続^つ
いて しあわせだ。

170

こううんが 続^つ
いて しあわせだ。

170	169	168	167	166
幸	度	配	重	飲
幸運 <small>つう</small> が続 <small>つづ</small> いて幸 <small>さい</small> せた。	温度計 <small>おんどけい</small> は、温度 <small>おんど</small> を調 <small>しら</small> べる道具 <small>どうぐ</small> です。	新聞 <small>しんぶん</small> を配 <small>くわ</small> って回 <small>まわ</small> る新聞配達 <small>しんぶんけいたつ</small> 。	重 <small>おも</small> い岩 <small>い</small> 、三 <small>さん</small> つ重 <small>おも</small> ねて重量 <small>りやう</small> 一 <small>いち</small> トン。	暑 <small>あつ</small> い時 <small>とき</small> には麦茶 <small>むぎちや</small> を飲 <small>の</small> もう。

たしかめ

35

名前

[illegible]

171

たいふうで　りゅうぼくが　ながれつゐた。

[illegible]

172

すいぞくかんで
いろいろな
さかなを
みた。

172	171
族	流
水族館でいろんな魚を見た。	台風で流木が流れ着いた。